

2007年6月



第4回パネル展京都  
2008年2月

**過労死やうつ自殺 遺族の思い伝える**

あすから下京でパネル展

過労やうつ病で自殺した人たちが遺族の思いを伝えるパネル展「うつ自死あきめ」が、あすから下京で開かれる。過労やうつ病で自殺した人たちの遺族の思いを伝えるパネル展「うつ自死あきめ」が、あすから下京で開かれる。過労やうつ病で自殺した人たちの遺族の思いを伝えるパネル展「うつ自死あきめ」が、あすから下京で開かれる。



あす、二十三日まで、無料問い合わせは同相談室(06)6242-8506

**過労やうつ病で自殺 故人の手記や写真、パネル展示 下京**

遺族 会場で語り掛け

大阪市のNPO法人「特定非営利活動法人働く者のメンタルヘルズ相談室」が、あすから下京で開かれる「うつ自死あきめ」パネル展の会場に、故人の手記や写真、パネル展示を行う。会場には、故人の手記や写真、パネル展示を行う。会場には、故人の手記や写真、パネル展示を行う。

つづいて、鎌倉さんは「環境がよければ、うつ病はうつりやすくなる。うつ病はうつりやすくなる。うつ病はうつりやすくなる。うつ病はうつりやすくなる。」

自殺防止へシンポジウムや遺品展示

**あすビッグサイト 多重債務者の支援討論も**

9年連続で3万人を超える自殺者を減らすための対策を話し合うシンポジウムが7月1日午後1時から、江東区の東京ビッグサイト国際会議場で開かれる。NPO法人「自殺対策支援センター ライフリンク」などでつくる実行委員会と内閣府が共催する。「自殺を『語る』ことのできる死」をテーマに、姜尚中・東大大学院

**きょうから江東 過労・うつ病「実態知って」**

長時間労働などが原因でうつ病になり、自ら命を絶つ「過労自殺」の実態を知ってもらおうと、大阪市のNPOが30日から、江東区総合区民センターで、遺品の展示会「私の中で今、生きていたあなた」を開く。京都市、大阪市に次いで3カ所目、7月4日まで。主催のNPO「働く者のメンタルヘルズ相談室」(伊福進彦理事長)は普段、心を病んだ会社員や家族の相談に応じている。展示会では、上司のパワハラなどが原因でうつ病になり、昨年、66歳で命を絶った大手運送会社勤めの大橋均さんや、44歳で自殺した小児科医の中原